

2. 郷土をひらいた人びと

○官有林引きもどし運動、鉄道開通につく
した人 かんゆうりん てつどうかいつう
[唐橋左源次] からはしざげんじ

山都町の面積の80パーセントは森林です。
このように山都町は森林が多く、緑ゆたかな
ところですよ。



この広い面積を持つ森林のほとんどは、明
治のころまでは官有林といって国のものでした。そのため、自由に木
を切ったり、炭をやいたりすることができませんでした。それで、人々
はこの森林を国からはらいさげてもらいたいと考えていました。この
ことにたいへん努力した人が、唐橋左源次（相川村長）という人です。



けんしょうび
顕彰碑

左源次は、山都では山林が人々の生活にとっ
て、なくてはならないものと思ひ、福島や東
京へもたびたび出かけ、官有林を町民のもの
にするため一生懸命努力をしました。

また、左源次は山都に鉄道を引くことにも
たいへんかつやくしました。山都に鉄道が通
ったことによって山都は早くから発展しまし
た。左源次のかつやくがあったからこそ、今、
山都町に鉄道が通り、駅があるのです。左の
写真の碑は、その唐橋左源次のすばらしいは
たらきをたたえてたてられたもので、山都第
二小学校の入り口にあります。

郷土をひらいた人は唐橋左源次のほか次の
ような人もいます。どんなことをして郷土山